学校番号	３０２３

令和２年度　公民科

教科	公民	科目	現代社会	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	改訂版現代社会（数研出版）						
副教材等	新編　テーマ別資料　現代社会 2020（東京法令出版） ウィニングコンパス　倫理・政経／現社の整理と演習（東京法令出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・現代社会のさまざまな事象について、相互に関連づけて多面的・総合的に取り扱う。
・社会全体の基本的な構造を認識させ、理解させる。
・現代社会の諸課題については、具体例な事例を用いて、主体的に考える力を養う。
・抽象的な概念については、できるだけ具体的な実例を用いて説明し、理解させる。

２　学習の到達目標

・現代社会のさまざまな課題について、自ら主体的に考えられるように指導する。
・主権者として、広い視野にたって現代社会の課題や対立について公正に判断する能力を養う。
・近い将来、社会のリーダーとして活躍していくために必要な資質と態度を育成する。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代の社会に対する興味・関心を高めて、社会に積極的に関わろうとする意欲を持たせる。主権者として社会に生起する様々な課題について主体的に考え、解決方法を立案しようとする態度を養う。	現代社会のさまざまな課題について、自ら学び、主体的に解決方法を探る。また、広い視野にたって多面的・多角的に考察し、公正に判断し、その過程や結果を適切に表現できるようにする。	現代社会のさまざまな事象について、諸資料を収集し、情報の取捨選択を行いながら現状を正確に把握する。そして、現状を分析して、その要因や背景を探る。	現代の社会に成り立ちについて、その歴史的な成立過程から理解する。そして、現状については、幅広く正確に認識してその仕組みを理解する。
評価方法	レポート 授業内発表	定期考査	定期考査	定期考査
	［主題学習］	［主題学習］	［主題学習］	［主題学習］ 内容のまとまり

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階で評価。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	現代の社会と人間	第１章　私たちの生きる社会	―	―	―	―	a 地球環境、資源・エネルギー、生命科学高度情報化社会等の分野に関わる課題に対する関心を高め、これらの問題に対して積極的に関わり解決方法について検討・立案しようとしている。 b 地球環境、資源・エネルギー、生命科学高度情報化社会等の分野に関わる課題を考察することを通して、幸福、正義、公正など社会のあり方を自ら考え、その過程を適切に表現している。 c 地球環境、資源・エネルギー、生命科学高度情報化社会等の分野に関わる課題を考察するのに必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d　地球規模の問題や、科学技術進展及びそれがもたらす急速な社会の変化について理解できる。	・定期考査 ・レポート ・授業内発表等
		第１節　地球環境問題	○	○	○	○		
		第２節　資源・エネルギー問題	○	○	○	○		
		第３節　科学技術の発達と生命	○	○	○	○		
		第４節　高度情報化社会と生活	○	○	○	○		
		第２章　青年期と自己の形成	―	―	―	―	a 自己形成期の課題について関心を持ち、自らの生き方について積極的に考察する。 b 先哲（特に古代ギリシア・イエス・釈迦・ムハンマド・孔子など）を学び、自らの生き方を深く考察できる。 d 日本の思想を学び、理解でき、日本の文化・生活への影響を考察できる。	
		第１節　青年としてのあり方・生き方	○			○		
		第２節　先人の生き方・考え方		○		○		
		第３節　日本人としての自覚	○			○		
後期	現代の政治と法	第１章　個人の尊厳と法の支配	―	―	―	―	b 民主政治のあゆみ、あり方が理解でき、国家と個人のかかわりについて考察できる。 c 憲法が保障する権利が具体的な事件にどのように適用されているかを、諸資料を用いて調べ、考察できる。 d 国際情勢の変化の中で、日本の平和主義のあり方の変化を考察でき、日本の国際貢献	・定期考査 ・授業内発表等
		第１節　民主政治の基本原理		○		○		
		第２節　日本国憲法と基本的人権		○	○	○		
				○	○			

							のあり方について意見を持ち、発表できる。	
		第２章　現代の民主政治と政治参加の意義 第１節　日本の政治機構 第２節　政治参加と民主政治の課題 第３章　国際政治の動向と日本の果たすべき役割 第１節　国際政治の動向 第２節　国際政治の課題と日本の役割	— ○ ○ ○	— ○ ○	— ○ ○	— ○ ○ ○ ○	a 日本の政治について課題を発見し、解決方法を自ら考察することで、主権者として、社会に起こるさまざまな出来事に積極的に関わろうとしている。 b 複雑化する国際関係を理解し、その構造について考察できる。また国際社会の中での日本の役割を認識でき、自分の意見を持ち、発表できる。 c 政党の役割を理解し、各党の綱領を調べ、その政策を比較検討することができる。 d 国家機構の三権相互の関係とそれぞれの役割が理解できる。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。